

埼玉県立川の博物館指定管理者候補者の選定結果について

埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課

平成29年7月10日から募集を開始した埼玉県立川の博物館の指定管理者については、埼玉県議会12月定例会の議決を経て指定しました。

つきましては、指定管理者候補者の選定に当たっての経緯等について公表いたします。

1 川の博物館指定管理者について

指定管理者：株式会社乃村工藝社

東京都港区台場2丁目3番4号

代表取締役 榎本 修次

2 指定の期間について

平成30年4月1日から平成35年3月31日まで（5年間）

3 応募の状況について

(1) 現地説明会への参加団体数

平成29年7月19日実施説明会 3団体

(2) 応募申請団体数

- ・平成29年9月8日締め切り 2団体
- ・申請団体の内訳
 - 展示ディスプレイ業者 1団体
 - ビルメンテナンス業者 1団体

4 指定管理者候補者の選定について

(1) 選定基準

ア 審査基準

- ・ 県民の平等な利用を確保することができる
- ・ 関係法令を遵守し、適正な運営ができる
- ・ 設置目的を効果的に達成し、効率的な運営ができる
- ・ 指定管理業務を安定して行う経営基盤を有している
- ・ 個人情報の適正な取扱いが確保できる

イ 審査項目

- ・ 公の施設としての役割を適切に担うことができるか
- ・ 利用者本位の柔軟なサービスが提供できるか
- ・ 県民の平等利用確保への配慮がされているか
- ・ 効果的かつ効率的な管理を実施できるか
- ・ 法人等の経営基盤が安定しているか
- ・ 効果的な事業を実施できるか

- ・ 指定管理業務に係る県の委託料は適切な額か
- ・ その他特筆すべき優れた点があるか

(2) 選定委員会の委員

氏名	職業等
井上 正之	公認会計士
書上 元博	埼玉県立歴史と民俗の博物館長
石塚 三夫	鉢形城歴史館長
星野 正義	戸田市立戸田第一小学校長
藤田 栄二	埼玉県教育局市町村支援部副部長

(3) 第1次審査について

審査基準に基づき、資格・書類審査を実施しました。

○ 審査結果

応募者2団体中、2団体を第2次審査対象団体としました。

(4) 第2次審査について

プレゼンテーションによる審査を実施しました。

○ 審査結果

審査項目 (配点)		乃村工藝社	団体A
公の施設の適切な運営	125点	91点	86点
柔軟なサービスの提供	100点	73点	65点
平等利用の確保	50点	34点	28点
効果的・効率的な管理	175点	120点	119点
安定した経営基盤	50点	35点	30点
効果的な事業	350点	248点	204点
適切な委託料の額	125点	77点	82点
その他、特筆すべき優れた提案 に対する加点	25点	18点	16点
合計点	1,000点	696点	630点

○ 株式会社乃村工藝社の選定理由

- ・ 実務経験のある専門職員の配置や管理運営における県と緊密な連携を図るための方策が提案されている。
- ・ 夏季の猛暑対策として「荒川わくわくランド」に日よけコーナーを設置するなど利用者サービス向上の取組が提案されている。
- ・ ラグビーワールドカップ2019TM、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を踏まえた、伝統文化体験事業や企画展の実施などが提案されている。
- ・ 改修する大水車及び荒川大模型173の魅力を発信する広報・イベントや周辺施設と連携した集客策の実施などにより、利用者数の増加が提案されている。

- ・ 安定した経営基盤を有している。

○（参考）選定委員の主な意見

団体名	意見
株式会社乃村工藝社 に対する主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 博物館として求められる専門職員や企画展、教育普及事業について具体的な提案がなされている。 ・ 比較的良好な経営基盤を有しており、安定した経営が見込める。 ・ 地元商工会との連携はやっているようだが、地元の文化財を活用するなど地域の活性化に繋がるような更なる取組を今後期待したい。
その他の団体に対する 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食堂運営や経費の削減について前向きの姿勢が見られた。 ・ 博物館の核となる専門職員の配置や学芸業務に関する提案が弱い。

5 株式会社乃村工藝社の提案の概要

（1）基本方針

- ・ 「川の国埼玉」のシンボルとしての存在感を示し、県民の誇りや愛着を育む。
- ・ 体験型施設や自然を活かして、ファミリーラーニング施設としての魅力を高める。
- ・ 学校教育との連携を強化し、次世代を担う子供たちの学習機会を創出する。
- ・ 自然、文化の多様な魅力を発掘・発信し、観光振興に貢献する。
- ・ 多様な人々が集い、活動するユニバーサル・ミュージアムを実現する。

（2）管理執行体制

- ・ 多岐にわたる要素を持つ川の博物館の機能に応じたスタッフ体制の構築。
- ・ 常勤職員19名、非常勤職員19名を配置。
- ・ 実務経験の豊富な学芸員を、館長を含め6名配置。

（3）事業計画等

- ・ 既存展示に拡がりや深みを取り入れるハンズオン展示の充実。
- ・ 「オリンピック・パラリンピックの開催に合わせた企画展」など4つの実施方針に基づく企画展を年3回以上実施。
- ・ 興味関心や学習意欲に応じた、間口の広い学習プログラムを展開。
- ・ 川の博物館の豊富な学習資源を活かした学習プログラムを提供し、学校教育を支援。
- ・ 工事の進捗や関連イベントを発信するホームページの開設、季節の花と大水車の撮影会など、改修する大水車を活用した集客策の実施。
- ・ 空撮を含むPR動画の制作・配信、荒川大模型を用いて秩父ジオパークや近隣の観光地等を解説するツアーの実施など、荒川大模型を活用した集客策の実施。

- ・ 開業を予定している花園 I C 周辺施設や埼玉北地域の観光農園等と連携し、ファミリー層の誘客を図る。

(4) サービス向上策等

- ・ 荒川わくわくランドに日よけコーナーを設置。
- ・ アドベンチャーシアター映像にナレーション字幕を追加。
- ・ 夏休み期間中の噴水広場に「水遊び広場」を開設。
- ・ 館内表示の多言語化や公衆無線 LAN (Wi-Fi) の整備。
- ・ アンケート調査等により利用者の意見や要望を把握・分析し、改善に努める。
- ・ 多様な利用者に配慮したおもてなしを実施する。

(5) 維持管理計画

- ・ 安心・安全・快適でひとにやさしい環境を実現する。
- ・ 予防管理をさらに強化し、施設の長寿命化を図る。
- ・ ノウハウを活用した費用低減の実施。
- ・ 大水車及び荒川大模型については、かわはくのシンボル・目玉展示として長期に稼働し続けることを目指して維持・管理を実施する。

(6) 収支予算案（5年間の収支計画）

- ・ 指定管理委託料の5年間の年平均額について、現指定期間と比較して約0.1%削減（消費税抜きで比較）。

(7) 利用料金に関する考え方

- ・ 料金設定は現状維持。

(8) 個人情報の取扱い

- ・ 個人情報保護法、県個人情報保護条例の趣旨に沿った適正な取扱いを行う。
- ・ Pマークに準拠した乃村工芸社の個人情報保護規則と個人情報マネジメントシステムにより個人情報を管理する。

(9) 危機管理体制

- ・ 統括マネージャーを安全管理責任者とした実効性のある危機管理体制を構築する。
- ・ 緊急対応ポケットメモを常時携帯し、日常的な防災意識を醸成する。
- ・ 職員への防災・安全教育訓練を定期的実施する。
- ・ 施設の特性に応じた危機管理・対応を実施する。